



会長 及川昭宏
 幹事 太田陽平
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



ガバナー月信



佐沼RCホームページ

第2842回例会 2022. 12. 8 No.16

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・及川昭宏会長 杉田広仁会員 本日の卓話よろしくお願いたします。
- ・杉田広仁会員 本日、スピーチ担当です。よろしくお願いたします。
- ・飯塚仁哉会員 読経で磨かれしマイクいらすの音量で、私の道標を伝えし話に心洗われる想いがします。
- ・佐藤幸一会員 杉田広仁会員のスピーチにご期待いたします。
- ・江川元徳会員 戦争いつ終結でしょうか？
- ・八谷郁夫会員 杉田広仁会員のスピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 杉田広仁会員のスピーチ期待します。
- ・菅野幸一郎会員 本日の杉田長老のお説経楽しみにしております。
- ・菅原慶一会員 杉田広仁会員のスピーチ期待します。
- ・小野寺伸浩会員 杉田広仁会員のスピーチに期待します。12月7日、裏磐梯に行き初積雪路を走りました。事故に気をつけましょう。
- ・及川富男会員 杉田広仁会員のスピーチに期待して。
- ・千葉正宏会員 杉田広仁会員の卓話を楽しみにしています。勉強させていただきます。
- ・二階堂恭子会員 今日のスピーチ、話題の多い杉田広仁会員何についての話か楽しみです。
- ・太田陽平幹事以下 杉田広仁会員のスピーチに期待。
 佐々木崇会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員
 菅原文之会員 遠藤光則会員 猪股育夫会員
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員

高橋利光会員 布施孝尚会員 山田正会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 佐藤哲弥会員
 森田峯男会員 佐藤利尚会員 村上正弘会員
 阿部康史会員 佐藤郁子会員

以上、ありがとうございました。

会長要件 及川昭宏会長

このところコロナの感染はかなり進んでおります。12月15日開催予定のクリスマス例会は感染拡大予防のため通常例会(12:30~13:00)に切り替えさせていただきます。お間違いないようにご出席の方よろしくお願いたします。

今から31年前の今日、三年間の米国赴任を終えて帰国したことが昨日のように思い出されます。当時日本はバブル崩壊直前であり社会的には夢うつつの状態であったと思います。滞在していたアメリカでは銀行や信用組合の破産などがあり、国際的には湾岸戦争の開戦目前という状況でした。

数年前に高橋・小野寺両会員とサウスレイクRCに表敬訪問時に、地元の街の方や宿泊したホテルの方と話しましたが相変わらずの学歴社会だと思いました。

大学中退で大成功したのはビル・ゲイツなどごく少数で殆どのCEOは大卒の学位を持っている方々です。高卒程度ではなかなか収入の高い職種にはつきません。俗にブルーカラーといわれる職種となります。地域の差はあると思いますがTEXAS赴任時に職場から注意するよう指示があったのは「日本人で群れるな」「綺麗にしる」「飲み物は選べ」でした。飲み物はパドワイザーはブルーカラーなので低く見られるといいです。日本でもふさわしいブランドがありますけれど

も米国でも同様ですね。人々の見方は様々といえ、その考え方を理解しておくのは重要なことだと思います。

幹事報告 太田陽平幹事

- ・岩出山RC・国際交流担当小野正則様より
 「国際親善交流会報告書が届く」
- ・登米市社会福祉協議会より
 「ハッピー・メリークリスマスパーティー」協賛金(寄付)に対するお礼状が届く
- ・川崎大師RCより、会報が届く

各委員会報告

- ・米山記念奨学会委員会(佐々木源悦委員長)
 本日、印海兵奨学生が見えています。後程会長より奨学金を渡していただきます。印さんは、11月には「リング狩」「国際親善交流会」に参加され大活躍されています。
- ・姉妹クラブ委員会(高橋利光委員)
 川崎大師RC50周年記念事業に参加される方を募集しております。締切りは本日12月8日です。現在7名の方から参加希望の連絡をいただいております。他にいらっしゃいましたら本日中にご連絡下さい。

今週のスピーチ

「俳句についてー私の俳句入門メモー」

杉田広仁会員

前回に続いて俳句の話させていただきます。俳句を始めてほんの短い期間ですので初心者で、まだ若葉マークの状態です。今日は四季の分け方についてお話を進めて参ります。レジュメを準備いたしましたのでご参照下さい。

ご存知の様に俳句は世界で最も短い詩であると言われております。俳句は季節と自分の心あるいは見たものとの取り合わせであります。季節感を日本人としてしっかりとらえ、その美意識をもって表わすという短い詩と言うこととなります。ロータリーの友でも「ロータリーの友創刊70周年特別企画」として作品を募集しております。締切りは令和5年2月となっております。皆様も応募されたら如何でしょうか。

四季の分け方

俳句は「連歌」や「俳諧」など、旧暦が使われていた時代の季節感がもとになっておりますので、今の暦とはずれがあります。

春：立春(2月4日頃)~立夏の前日(5月5日頃)
 旧暦1月(初春) 太陽暦2月上旬~3月上旬
 2月(仲春) 3月上旬~4月上旬
 3月(晩春) 4月上旬~5月上旬

夏：立夏(5月6日頃)~立秋の前日(8月7日頃)
 旧暦4月(初夏) 太陽暦5月上旬~6月上旬
 5月(仲夏) 6月上旬~7月上旬
 6月(晩夏) 7月上旬~8月上旬

秋：立秋(8月8日頃)~立冬の前日(11月6日頃)
 旧暦7月(初秋) 太陽暦8月上旬~9月上旬
 8月(仲秋) 9月上旬~10月上旬
 9月(晩秋) 10月上旬~11月上旬

冬：立冬(11月7日頃)~立春の前日(2月3日頃)
 旧暦10月(初冬) 太陽暦11月上旬~12月上旬
 11月(仲冬) 12月上旬~1月上旬
 12月(晩冬) 1月上旬~2月上旬

新年：時季としては、冬だが四季とは区別する。
 現在の暦を採用する。

旧暦-日本で明治5年11月まで採用されていた「大陰太陽暦」のこと。略して「陰暦」ともいう。月の満ち欠けに基づく太陰暦と太陽暦を併せた暦。1ヶ月30日とし、31日はなく1年を12ヶ月としたため、19年に7回閏月(13番目の月)を設けた。

太陽暦-地球が太陽を1周する時間を1年とする暦。365日を1年とし、4年ごとに閏日(2月末)を置く。キリスト教とともに欧米を中心に広く使われ、日本では明治5年12月から採用された。「陽暦」ともいう。

二十四節気

春：立春(2月4日頃)、雨水(2月19日頃)
 啓蟄(3月6日頃)、春分(3月21日頃)
 清明(4月5日頃)、穀雨(4月20日頃)

夏：立夏(5月6日頃)、小満(5月21日頃)
 芒種(6月6日頃)、夏至(6月21日頃)
 小暑(7月7日頃)、大暑(7月23日頃)

秋：立秋(8月8日頃)、処暑(8月23日頃)
 白露(9月8日頃)、秋分(9月23日頃)
 寒露(10月8日頃)、霜降(霜が降りる頃)

冬：立冬(11月7日頃)、小雪(11月23日頃)
 大雪(12月7日頃)、冬至(12月22日頃)
 小寒(1月5日頃)、大寒(1月21日頃、1年中で一番寒い時期)

その他

彼岸-春分を挟んだ7日間。俳句の季語としては、特に、春の彼岸を指して「彼岸」といい、秋の彼岸は「秋彼岸」として区別する。

暑中-立秋の前18日間の「夏の土用」のこと。「土用」は、立夏の前の春の土用、立冬の前の秋の土用、立春の前の冬の土用とある。一般には、夏の土用を指す。

寒中-小寒の初めから大寒の終わりまでの間。寒のうち。

残暑-「立秋」を過ぎてからの暑さのことを指す秋(初秋)の季語。

余寒-「立春」を過ぎてから感じる寒さ。春(初春)の季語。

節分-立春の前日のこと。本来節分は、季節の変わり目を意味する言葉で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指したが、冬から春への到来を待ち望む気持ちから、立春の前日が重んじられ、季語として「節分」は冬の季語となる。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。